



磯の観察会



磯に集まる命を観察

磯は様々な生物の棲み家となり、命にあふれています。

磯が陸上に現れる干潮時を狙って磯の生物を探してみましょう。

対象 幼児～大人

場所 磯

時間 2時間※春～秋の大潮前後

2. 準備の前に

1. 用意するもの

参加者(人数分)

- ①軍手
- ②たも網
- ③バケツ
- ④平べら(鉄製)
岩に付着した生物をはがす
- ⑤磯の生物図鑑

※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



2. 事前の準備

危険を予測しよう

- ・磯は危険な生物が岩陰などに隠れていることが多くあります。現場の状況を把握し、危険を避けましょう。



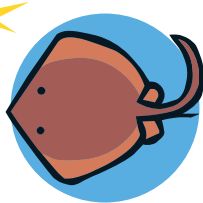
注射器



死んだクラゲも毒針が！



ガラス



アカエイ

安全に実施できる服装を

- ・磯には尖った岩や貝殻など危険な物が多いです。参加者には安全に活動できるように、履物と軍手は必ず用意しましょう。



古い運動靴



アクアシューズ

※サンダルは危ないのでやめよう

プログラムの本番！

1. 参加者にルールを伝えよう！（約10分）

参加者がそろい挨拶を済ませたら、実施範囲と危険物について共有しましょう。特に転倒した際の危険や危険生物については全員が理解できるように実物や写真を使ってしっかり伝えましょう。

2. 磯の生物探し（約100分）

生物を探して採集します。

潮は時間とともに引いていくので、引き潮に合わせて沖に進むように探すとより多くの生物を観察できます。

参加者が安全に活動できるよう、スタッフは危険物に気を配りながら実施してください。

スタッフが率先して参加者に採集方法を伝え、時にはたも網を使った追い込み採集作戦などを協力して行くと盛り上がります。安全管理担当者は参加者の行動把握に努めて、はぐれたりする参加者がいないように注意します。

終了5分前に予鈴を行うと円滑に集合できます。

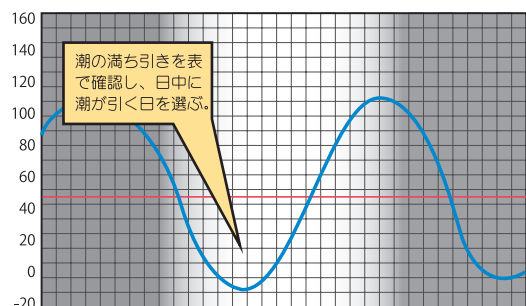


3. ふりかえり（約10分）

参加者が集まったら、全員で見つけた生物についてふりかえりを行いましょう。見つけた生物を見せながら解説を行ったり、参加者の体験について共有するとよりイメージしやすいでしょう。

ココがポイント 大潮を狙おう！

磯の採集は干潮時が最も適しています。実施の際は潮汐表を確認し、大潮の干潮時に終了できるように時間を設定しましょう。



見つける時のポイント

- ・磯の生物は潮の高さによって棲み分けしています。岩の帯状の模様から上下で観察すると生物の分布の違いが判ります。
- ・石の裏や隙間にも生物は隠れています。ひっくり返して探してみましょう。
- ・時には立ち止まることも重要です。じっと動きを止めていると、出てくる生物がいるかもしれません。

